

(別紙 1)

平成 29 年度～平成 33 年度 社会福祉法人杜の舎 社会福祉充実計画

1. 基本的事項

法人名	(もりのいえ) 社会福祉法人 杜の舎		法人番号	8070005005823				
法人代表者氏名	理事長 星野 安正							
法人の主たる所在地	群馬県太田市安良岡町 298-1							
連絡先	0276-49-2285							
地域住民その他の関係者への意見聴取年月日								
公認会計士、税理士等の意見聴取年月日	平成 29 年 5 月 25 日							
評議員会の承認年月日	平成 29 年 6 月 19 日、平成 29 年 8 月 8 日							
会計年度別の社会福祉充実残額の推移 (単位：千円)	残額総額 (平成 28 年度末現在)	1 か年度目 (平成 29 年度末現在)	2 か年度目 (平成 30 年度末現在)	3 か年度目 (平成 31 年度末現在)	4 か年度目 (平成 32 年度末現在)	5 か年度目 (平成 33 年度末現在)	合計	社会福祉 充実事業 未充当額
	122,450 千円	102,620 千円						
うち社会福祉充実 事業費 (単位：千円)			▲102,620 千円				▲102,620 千円	
本計画の対象期間	平成 30 年 4 月 1 日より平成 31 年 3 月 31 日							

2. 事業計画

実施時期	事業名	事業種別	既存・新規の別	事業概要	施設整備の有無	事業費
1か年度目						
	小計					
2か年度目	障害者グループホーム移転創設整備事業	社会福祉事業	新	<p>既設2カ所（公営住宅・民間集合住宅）のホームは設備等の経年劣化がみられ、高層であることと利用者の高齢化が相まって大きなバリアとなっている現状を早期に解決するため新築整備をおこない移転する。また、障害者地域生活拠点事業の一部機能として緊急時の短期入所として利用できるスペースも確保する。</p> <p>①土地一部取得（民間） ②1棟目自己資金による施設整備 ③2棟目自己資金による施設整備</p>	有	141,164,240円
	小計					141,164,240円
3か年度目						
	小計					
4か年度目						
	小計					
5か年度目						
	小計					
						141,164,240円

※ 欄が不足する場合は適宜追加すること。

3. 社会福祉充実残額の使途に関する検討結果

検討順	検討結果
① 社会福祉事業及び公益事業（小規模事業）	現在運営する2カ所の高層賃貸（公営住宅・高層集合住宅）ホームの利用者の高齢化が進み、身体的バリアと共に建物の経年劣化による設備の不備等を早期に解決するため、法人として計画を進めていた2カ所のグループホームの移転新築整備を社会福祉充実計画に組み入れることにより、バリアフリーな環境を提供する。同時に、障害者の地域の拠点とし、相談支援機能及び短期入所機能を併設する。
② 地域公益事業	①の取組の実施によって、残額の発生はない
③ ①及び②以外の公益事業	①の取組の実施によって、残額の発生はない

4. 資金計画

事業名	事業費内訳	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	合計	
障害者グループホーム移転創設整備事業	計画の実施期間における事業費合計		141,164,240 円				141,164,240 円	
	財源構成	社会福祉充実残額		102,620,000 円				102,620,000 円
		補助金						
		借入金						
		事業収益						
		その他		38,544,240 円				38,544,240 円

※ 本計画において複数の事業を行う場合は、2. 事業計画に記載する事業の種類ごとに「資金計画」を作成すること。

5. 事業の詳細

事業名	障害者グループホーム移転創設整備事業									
主な対象者	知的障害者									
想定される対象者数	12名の入居者及び太田市内の短期入所者2名（空床利用）									
事業の実施地域	群馬県内									
事業の実施時期	平成30年4月1日～平成31年3月31日									
事業内容	<p>現在運営している2カ所のグループホーム（①平成17年開所、定員7名、民間集合住宅②平成19年3月開所、定員4名、市営住宅）について耐震性はクリアしているものの、築後35～41年が経過し、設備等も劣化しており、生活に支障をきたしている現状がある。また、居室も高層でエレベーター未設置もあり、利用者の高齢化も相まって大きなバリアとなっている現状を早期に解決するため2カ所のホームを同時に新築整備し（1カ所は国庫補助申請、1カ所は自主財源による整備）、バリアフリーな住空間を提供する。又、2ホームを同一敷地に整備することにより、柔軟且つ効率的な支援体制をとることが可能となる。</p> <p>さらに、障害者地域生活拠点事業の地域での拠点づくりとして、相談支援センター並びに空床利用の短期入所を2ホームに2床併設することにより、地域の障害者の相談から緊急時の対応までの複合的機能も併せ持つ。</p>									
事業の実施スケジュール	1か年度目									
	2か年度目	土地取得（民有地） 1棟目 施設整備、年度末移転（自主財源による整備） 2棟目 施設整備 年度末移転（自主財源による整備）								
	3か年度目									
	4か年度目									
	5か年度目									
事業費積算 （概算）	①土地関係 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>民有地取得</td> <td style="text-align: right;">5,000,000円</td> </tr> <tr> <td>外構工事</td> <td style="text-align: right;">4,212,000円</td> </tr> <tr> <td><u>造成・よう壁</u></td> <td style="text-align: right;"><u>6,210,000円</u></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">15,422,000円</td> </tr> </table>	民有地取得	5,000,000円	外構工事	4,212,000円	<u>造成・よう壁</u>	<u>6,210,000円</u>		15,422,000円	
	民有地取得	5,000,000円								
外構工事	4,212,000円									
<u>造成・よう壁</u>	<u>6,210,000円</u>									
	15,422,000円									
②1棟目施設整備 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>設計監理</td> <td style="text-align: right;">2,376,000円</td> </tr> <tr> <td><u>本体工事</u></td> <td style="text-align: right;"><u>65,972,880円</u>（相談支援付帯）</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">68,348,880円</td> </tr> </table>	設計監理	2,376,000円	<u>本体工事</u>	<u>65,972,880円</u> （相談支援付帯）		68,348,880円				
設計監理	2,376,000円									
<u>本体工事</u>	<u>65,972,880円</u> （相談支援付帯）									
	68,348,880円									
③2棟目施設整備 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>設計監理</td> <td style="text-align: right;">2,160,000円</td> </tr> <tr> <td><u>本体工事</u></td> <td style="text-align: right;"><u>55,233,360円</u></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">57,393,360円</td> </tr> </table>	設計監理	2,160,000円	<u>本体工事</u>	<u>55,233,360円</u>		57,393,360円				
設計監理	2,160,000円									
<u>本体工事</u>	<u>55,233,360円</u>									
	57,393,360円									
	合計	141,164,240円（うち社会福祉充実残額充当額 102,620千円）								
地域協議会等の意見と その反映状況										

※ 本計画において複数の事業を行う場合は、2. 事業計画に記載する事業の種類ごとに「事業の詳細」を作成すること

6. 社会福祉充実残額の全額を活用しない又は計画の実施期間が5か年度を超える理由

--